

第140回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	普通預金	受取手形
売掛金	売買目的有価証券	立替金	満期保有目的債券
車両	支払手形	買掛金	未払金
売上割戻引当金	資本金	資本準備金	利益準備金
有価証券利息	有価証券評価益	貸倒引当金	車両減価償却累計額
本店	多摩支店	仕入	減価償却費
売上値引	売上割戻	創立費	株式交付費
売上割引	支払利息		

- 東野警護株式会社は、設立にあたって発行株式総数 20,000 株のうち 5,000 株を 1 株あたり ￥ 50,000 で発行することとし、全株について引受け・払込みを受け、払込金については普通預金に入金した。なお、資本金は会社法で認められている最低限度額を計上することとした。また、発起人が株式発行に係る諸費用 ￥ 756,000 を立て替え払いしていたことが判明したので、現金で精算した。
- 当社は本店の他に複数の支店を全国に展開しており、支店分散計算制度を導入しているが、かねて本店が安部工房株式会社から掛けて仕入れた商品の代金 ￥ 216,000 について、本日、多摩支店に安部工房株式会社の社員が集金に来たので、多摩支店は本店に代わって全額を小切手を振り出して支払った。なお、今回は本店側の仕訳を解答する必要はない。
- 当社の直近 4 か月の売上状況を精査した結果、一定額以上の商品を購入した恩田商店と瀬尾商店が、それぞれ ￥ 100,000 の売上割戻を実施する要件を満たしていることが判明した。そこで、恩田商店については小切手を振り出して支払い、瀬尾商店については同店に対する売掛金を減額することとした。ただし、瀬尾商店に関しては、前期末に売上割戻引当金 ￥ 75,000 を計上している。
- 沢木耕作株式会社が発行した社債（額面総額：￥ 80,000,000、償還期間：4年、年利率：3.65%、利払日：毎年6月および12月末日）を、満期日に償還されるまで保有する予定で2月4日に額面 @ ￥ 100につき ￥ 98 で取得した。代金は端数利息とともに普通預金から証券会社の指定する口座に振り込んだ。なお、端数利息については1年を365日とする日割計算で行うが、購入日当日も含めて計算すること。
- 百田運送株式会社は、決算にあたり保有している10トントラック（取得原価：￥ 21,600,000、残存価額：取得原価の10%、総走行可能距離：300,000km、当期の走行距離：60,000km、記帳方法：直接法）の減価償却を生産高比例法により行った。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	普通預金	250,000,000	資本金	125,000,000
	創立費	756,000	資本準備金	125,000,000
2	本店	216,000	現金	756,000
			当座預金	216,000
3	売上割戻	125,000	当座預金	100,000
	売上割戻引当金	75,000	売掛金	100,000
4	満期保有目的債券	78,400,000	普通預金	78,680,000
	有価証券利息	280,000		
5	減価償却費	3,888,000	車両	3,888,000